

成果の説明書

(氏名) 宮田 剛志	(学部) 地域政策学部
1 重要事項	
○ 研究成果	
(1) 宮田剛志・万木孝雄「養豚法人経営の価値の創出とその要因分解」 2023年度日本農業経済学会 個別報告 於：青山学院大学 2023年3月18日	
(2) 万木孝雄・宮田剛志「水田活用直接支払および農業財政の視点による飼料用米生産の推移と評価」 2023年度日本農業経済学会 個別報告 於：青山学院大学 2023年3月18日	
○ 学会活動 活動なし	
○ 社会活動 活動なし	
○ 教育活動 活動なし	
2 その他の事項	
3 次年度以降の計画・抱負	
○ 研究活動	
(1) 日本農業経済学会	
① 論文投稿	
② 書評	
(2) その他	
○ その他 学会活動、社会活動、教育活動等に関しては、順次、再開させていく。	
○ 付記 この期間、谷口信和先生（東京大学）、橋口卓也先生（明治大学）、佐野雅俊氏（前・大分県農林水産部）の各氏には、公私にわたり、研究と「生活」、その他、様々に支援を頂いた。小田切徳美先生（明治大学）、澤田守畑輪作システムグループ長補佐（農研機構）、平林光幸上席主任研究官（農林水産政策研究所）、宇都宮隆一氏、吉止勝幸氏（ともに、大分県農林水産部）も同様である。古田恒平先生（明治大学）、西原是良先生（東京大学）	

菊島良介先生（東京農業大学）には、教育面で様々に支援を頂いた。

また、特に、2022年6月以降、当大学の佐藤彰彦学部長、植原政美事務局長、高橋慎太郎庶務チームリーダー、木村幸代学生支援チーム、進藤桂子学生支援チームには、様々なお心遣い・ご配慮を頂いた。もちろん、庶務チーム、教務チーム、研究支援チーム、図書館チーム等々の職員の皆さんも同様である。

なお、当大学の高木賢・前理事長には、約10年強、食料・農業・農村基本法における政策課題・構築等に関して、「歳の離れた弟子」のように接して頂いたにもかかわらず、退職されるにあたり、その御厚情に応えておりませんこと、お詫びの申し上げようもない。万木孝雄先生（東京大学）との共同研究において、我が国の農業経営において、事業戦略と連動して価値を創出している部門が推察されてきたが、このような学術的な成果を、土地利用型農業にいかに関適用させていくのかに関しての研究を深化させていくことで、つたないながらも応えさせてい続けられていければと考えている。

紙面の都合上、お名前をあげることができなかったが、多くの皆様に支援を頂いた。記して、改めまして、感謝の意を表する。

同時に、研究活動、社会活動、教育活動等、中断せざるおえなくなり、職責を十分に果たすことができず、農林水産省各担当課、(公財)日本農林漁業振興会、(公財)群馬県農業公社、大分県北部振興局、豊後高田市等々の皆さんには、衷心よりお詫び申し上げます。同様に、多くの様々な皆様からご連絡を頂いておりましたにもかかわらず、十分に応えられませんでしたことも同様である。